市政のここが聞きたいQ

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

質問項目一覧（通告順）

スマートフォンなどをお持ちの方は、氏名の下のQRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

小泉　誠……P10
・防災
・民間委託によるごみ処理方式の採用
・PFOS及びPFOA

柿澤　祐介……P11
・防災
・リチウムイオン電池

清水　健一……P11
・税公金
・持続可能な自治会活動
・公園の在り方

加藤　利江……P12
・上柴公民館
・民生委員・児童委員と保護司の活動

山出　秀明……P12
・災害援助
・リサイクル奨励金
・深谷駅の北口

坂本　博……P13
・深丘園
・集中豪雨

繋　由香……P13
・誰もが本を楽しめる読書環境の整備

五間　くみ子……P14
・「ガーデンシティふかやプラン～3rdステージ～」に基づく取組
・「ふかや緑の王国運営計画シーズン3」
・市内産の花苗を活用した、深谷ならではのまちづくり

田口　英夫……P14
・高齢者に対する施策
・自治会活動

富田　勝……P15
・緑化樹等の管理
・災害

田島　秀興……P15
・建設工事に係る入札契約制度と地域施工体制の維持

湯本　哲昭……P16
・農業振興に関する取組み

福島　秀樹……P16
・防災対策

佐久間　奈々……P17
・生活保護をあたりまえの権利に

鈴木　三男……P17
・県道深谷寄居線第四寄居街道踏切の拡幅
・水道水
・国保税

小林　真……P18
・「ふるさとの景色」の「歴史」を広く重ねるには
・花園IC拠点整備プロジェクトの成果を市民と共有するには
・学校支援、地域を人口減社会にフィットさせるには

茂木　一郎……P18
・校外活動の安全確保
・アグリテック集積事業

八須　由憲……P19
・防災気象情報
・深谷市民の日
・渋沢栄一・桃井可堂顕彰

髙田　博之……P19
・道路交通法の改正
・新規就農者対策
・小山川ウォーク＆サイクルロード

Q 大雨の際の内水氾濫ハザードマップの公開はいつか

A 令和11年の改訂時を予定している



小泉（こいずみ）　誠（まこと）

映像はこちらから

Q 緊急時、避難生活が長期化した場合の食料の確保や、避難所内の生活空間について、どのような取り組みを考えているか。

A 長期化した場合、災害協定を締結している事業者等から支援を受ける。住宅が確保できない方は、協定締結先のホテル等で生活していただくことを計画している。

●可燃ごみの民間委託について

Q 可燃ごみの民間委託は大きな政策転換である。検討の段階から議会や市民との対話が必要だと思うが、今後の対話について見解を伺う。

A 市民サービスの維持を前提として、課題の整理と費用を踏まえて比較した結果、民間委託が有効との方針を固めたものである。現在、議会や自治会連合会の会議、地元の自治会長会議等で報告している。

●皿沼浄水場のPFOS・PFOAについて

Q 現在の皿沼浄水場における浄水低減対策、希釈、水源の運用状況は。

A 自己水と県水の混合比率は、8対2で、取水を停止している水源はない。第20の1号水源の仮設稼働を行いながら、第30号水源の令和9年度の本格稼働を目指している。

Q 皿沼浄水場では、現在、水源井戸の検査を行っていない。どのようなタイミングで水源井戸の検査を行うのか。

A 年1回の検査と給水栓の水は25ng／L未満を目安に運用しているため、その範囲を超えれば、臨時検査を検討する。



深谷清掃センター

Q 災害備蓄品の備蓄状況について

A 市と県で合計3日分、食料は6万食の備蓄である



柿澤（かきざわ）　祐介（ゆうすけ）

映像はこちらから

Q 防災倉庫の設置場所は適切に配置されているか伺う。

A 災害時に避難所となる市内公民館12か所を中心に、計19か所の防災倉庫を地域バランス等考慮して配置している。

Q 避難所開設時の女性へのプライバシーの確保等の対応について伺う。

A 女性専用の更衣室や授乳室の設置、生理用品の女性による配布等女性や子育て家庭のニーズに配慮した運営ができるよう計画している。

Q 防災設備の設置や取組状況について伺う。

A マンホールトイレについては岡部公民館とワモア川本に設置しており、今後、公共施設の再整備等に併せ、防災設備の充実を図っていく。

●リチウムイオン電池について

Q リチウムイオン電池の回収に関する現状について伺う。

A 新しいごみの区分を創設し、毎月第3水曜日に、深谷市役所本庁舎1階市民ホールのほか、岡部・川本・花園各総合支所のエントランス、深谷清掃センター内資源物置場の5か所に専用窓口を開設し回収を行っている。

Q ごみ処理施設の「火災検知の体制」について伺う。

A 施設を所管している大里広域市町村圏組合では、緊急時対応マニュアルに基づき対応を行うこととして、速やかに初期消火にあたれるよう訓練も実施し体制を整えている。



市内防災倉庫

Q 持続可能な自治会活動に向け支援すべきではないか

A 先例市を参考にしながら調査研究していく。



清水（しみず）　健一（けんいち）

映像はこちらから

Q 全国各地で、自治会加入率の低下や担い手不足等、地域の希薄化が深刻化している。自治会の負担を考え、広報誌の配布を見直した市町が多く見られるが、考えを伺う。

A 広報の他、各学校だより等を同時に配布しており、引続き自治会にご協力をお願いしてまいりたい。

Q 先例市では、様々な配布物に対応するため、学校区ごとのポスティングを入札で決めており、市内の業者に確認したところ、問題なく対応できるとの事だが、いかがか。

A 先例市を参考に研究していく。

Q 回覧板のデジタル化や緊急時に有効なラインのオープンチャット、会議時間を短縮するために会議資料を予めラインで送っておく等の自治会DX支援サービスアプリは、多くの市町で利用して効果が確認されているが、導入の考えを聞きたい。

A 自治会連合会の中で、先例市の事例を紹介し、調査研究していく。

●公園の在り方について伺う

Q 地域コミュニティ醸成の場となるよう、利用ニーズを把握して検討するべきだが考えを聞きたい。

A 先進事例等も研究しながら、仕組みづくりを検討していく。

Q 公園内にカフェがある、代々木公園や富岩運河環水公園は有名だが、そうしたパークPFIを含めた検討をしていくのか聞きたい。

A 仙元山公園再整備で、民間活力の導入の可能性調査を行う。



自治会支援サービスアプリ

〈『市政のここが聞きたい』の記事は質問者本人が執筆したものを編集し　掲載しております。〉